

さあ、保険の新次元へ。



2026年1月29日

各 位

株式会社 T & D ホールディングス  
代表取締役社長 森山 昌彦  
(コード番号: 8795 東証プライム)

### 2026年3月期第3四半期末の有価証券含み損に関するお知らせ

2026年3月期第3四半期末における有価証券の含み損を算出した結果、その総額が以下のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 対象となる有価証券

(A) 2026年3月期第3四半期末の有価証券含み損の総額	1,603,848百万円
(B) 2025年3月期の連結経常利益額 (A/B × 100)	198,595百万円 (807.6%)
(C) 2025年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益 (A/C × 100)	126,411百万円 (1,268.7%)

(注) 1. 「満期保有目的の債券」および「責任準備金対応債券」を対象としています。

2. 対象有価証券の帳簿価額 6,584,792 百万円 (うち満期保有目的の債券 602,531 百万円)  
(うち責任準備金対応債券 5,982,261 百万円)  
時 價 4,980,944 百万円 (うち満期保有目的の債券 505,300 百万円)  
(うち責任準備金対応債券 4,475,644 百万円)

##### 2. 業績への影響について

2026年3月期の通期連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日) につきましては、現時点では、2025年5月15日に公表しました業績予想・配当予想から変更はございません。今後開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

なお、満期保有目的の債券および責任準備金対応債券は、保険負債に対応する資産として保有しております。金利が上昇した場合には、資産側の時価が減少する一方、対応する保険負債の経済価値も減少し、両者は相殺される関係にあります。このため財務の健全性に直接的な影響を及ぼすものではありません。

(ご参考)

- ・当社の第3四半期末は、12月31日です。
- ・2026年3月期第3四半期末における「満期保有目的の債券」および「責任準備金対応債券」の含み益および差引含み損益は、以下のとおりです。

(D) 2026年3月期第3四半期末の有価証券含み益の総額	10,420百万円
(E) 2026年3月期第3四半期末の有価証券差引含み損益の総額 (D-A)	△1,593,427百万円

以上

【お問合せ先】株式会社T&Dホールディングス 広報課 ([tdhd.kouhou@td-holdings.co.jp](mailto:tdhd.kouhou@td-holdings.co.jp))